

「大勝小学校の八月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	龍郷町立大勝小学校
2. 学年・人数	全児童 138 人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月18日 大勝小学校運動場 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月6日 大勝小学校運動場
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 八月踊り（はちがつおどり） (2) 由 来 起源は定かではないが、按司の世（約 700 年前）からあったのではないかとされている。豊かな実りに感謝し、来年の豊作を願う「祝付け」の踊りである。 (3) 構成等 男衆と女衆のそれぞれの「唄出し」と「太鼓（チジン）」から輪を描く。太鼓（チジン）を叩くのは、ほとんどが女衆。そのリズムに乗り、男女が島唄を交互に歌いながら八月踊りを踊る。そして、八月踊りの最後は、六調（ろくちょう）で締めくくる。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が協働して八月踊りを伝承していくために、月一回の八月踊りの練習に参加するなど、学校（教頭・担当）と地域（老人会長など）との連携を密に行っている。また、運動会で八月踊りを発表するだけでなく、地域で行われる「種下ろし」にも積極的に参加している。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  運動会での八月踊り 種下ろし
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・ 八月踊りのシマ唄は難しかったけれど、地域の方の踊りを真似ながら上手に踊ることができたので、楽しかった。 【地域】 ・ 子どもたちに伝統のある八月踊りを教えることができてよかった。また、運動会では子どもや保護者、地域が一体となって踊り、大いに盛り上がることでよかった。 【職員】 ・ 子どもたちが、伝統のある八月踊りを楽しみながら踊る姿に感動した。